

大阪市都市計画審議会専門部会 御堂筋の活性化に関する検討調査 中間とりまとめ

【目次】

はじめに

1

Ⅰ．大阪都心の活性化の方向性に向けた御堂筋エリアの現状と課題

2

Ⅱ．御堂筋エリアのビジョン

6

Ⅲ．めざす姿の実現に向けた取り組みの方向性

9

Ⅳ．誘導方策

14

Ⅴ．まとめ

17

目 的

グローバル化、少子高齢化社会の進展等、都市を取り巻く環境は大きく変化している。都市の国際競争が激化する中、大阪が国際競争に打ち勝つためには、これらの環境変化に応じた都心の再構築が必要と言える。このような中、本年6月に大阪府市で策定した「グランドデザイン・大阪」においては2050年の大阪の将来像を示すとともに、象徴的なエリアの1つとして、御堂筋及び周辺地域を挙げている。一方、近年の大阪駅周辺地区、中之島地区、阿倍野地区等における開発の進捗により、市内の業務・商業機能の実態が大きく変化する中、御堂筋エリアについてはその相対的地位の低下が懸念されており、エリアの再構築に向けた早急な対応が必要となっている。

このような背景を受け、大阪市都市計画審議会に専門部会を設置し、御堂筋エリアに関して、今後求められる役割や再構築の方向性(ビジョン等)を明らかにするとともに、それに向けた誘導方策について検討調査を行なうこととしたものである。

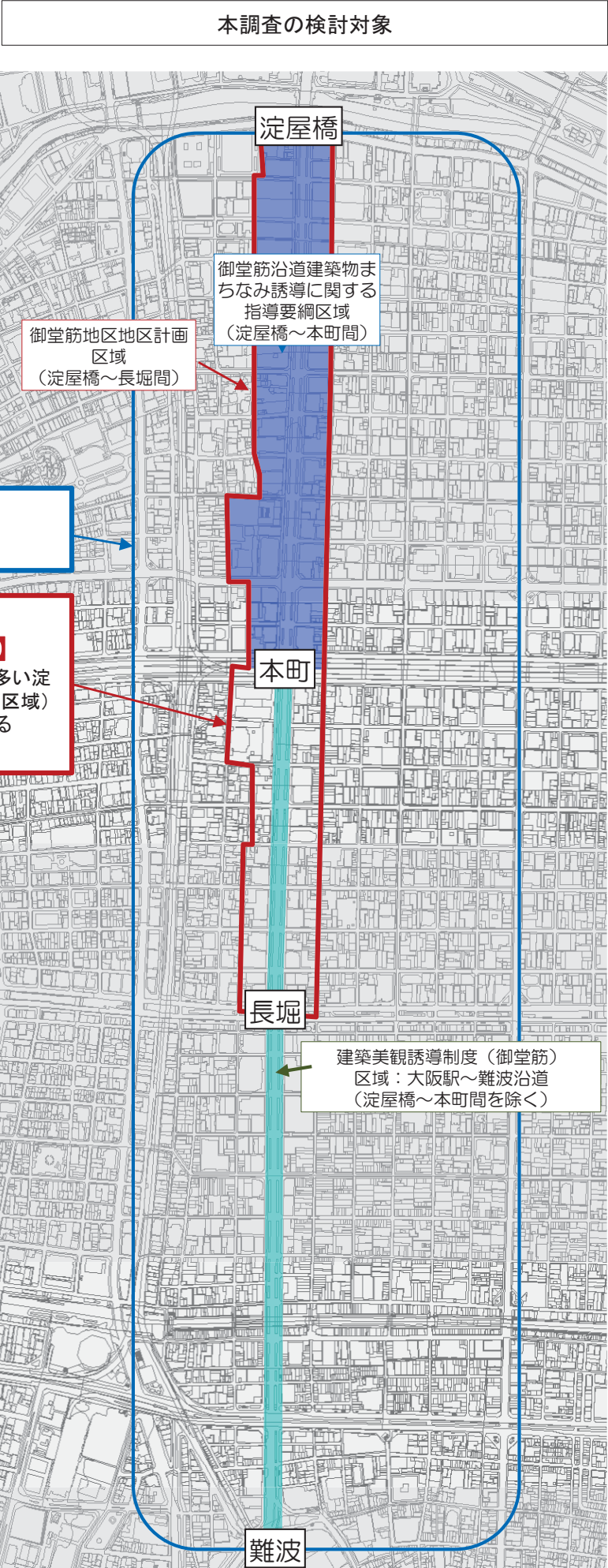
なお、本調査においては、今後のビジョンについてはエリア全体を対象とし、誘導方策については、現在、規制誘導が多く存在する『[淀屋橋～長堀間](#)』の『[沿道](#)』を対象とする。

大阪市都市計画審議会専門部会委員名簿

大阪市都市計画審議会委員	☆橋爪 紳也	大阪府立大学21世紀科学研究機構教授
	嘉名 光市	大阪市立大学大学院工学研究科准教授
	塚口 博司	立命館大学理工学部教授
	長町 志穂	京都造形芸術大学客員教授
大阪市都市計画審議会専門委員	加藤 晃規	関西学院大学総合政策学部教授
	北 修爾	大阪商工会議所常議員
	櫻内 亮久	関西経済連合会理事
	佐藤 博之	大阪ビルディング協会会長 (☆:部会長)

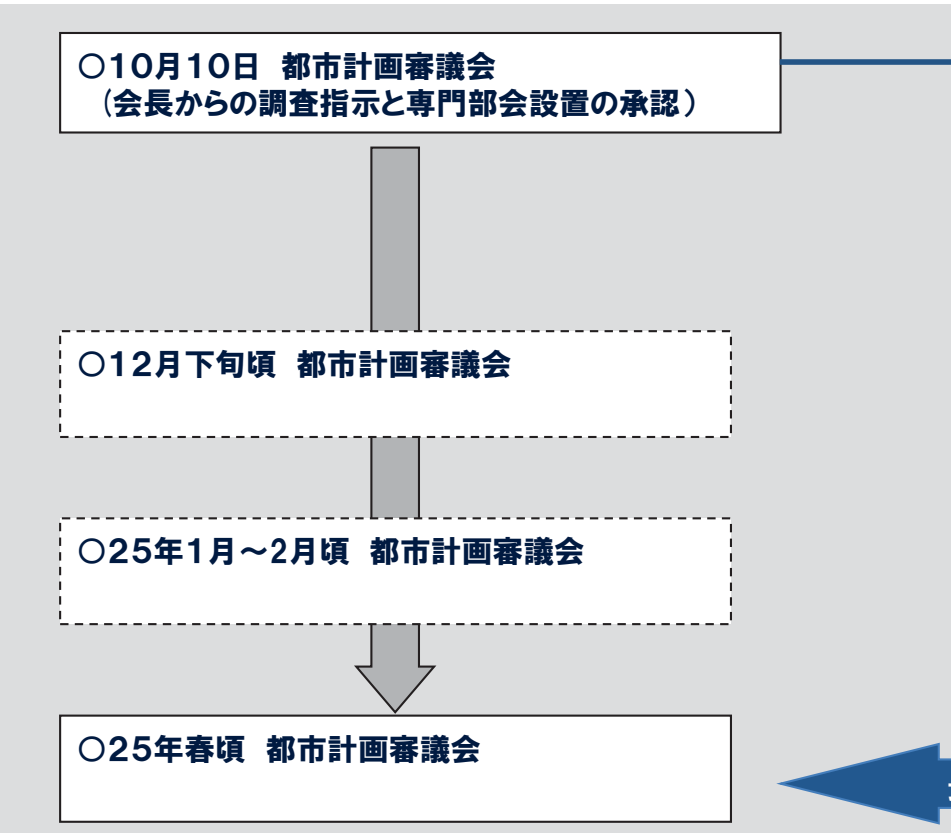
【本調査の検討対象】
御堂筋沿道及び周辺エリア全体

【本調査の誘導方策の検討対象】
現在、地区計画や指導要綱といった規制誘導が多い淀屋橋～長堀間沿道（現在の御堂筋地区地区計画区域）を本調査における誘導方策の検討対象とする



検討経過

■ 今後の大阪市都市計画審議会の予定



■ 専門委員会の流れ(想定)

